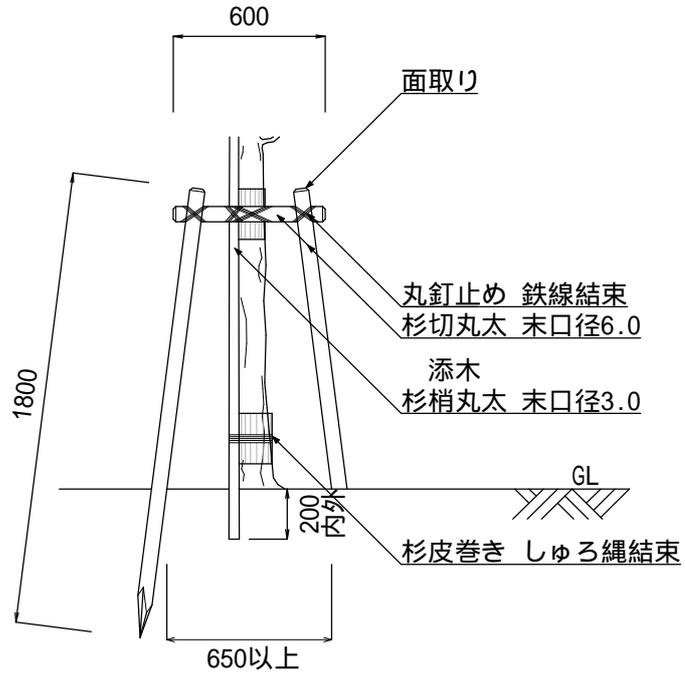
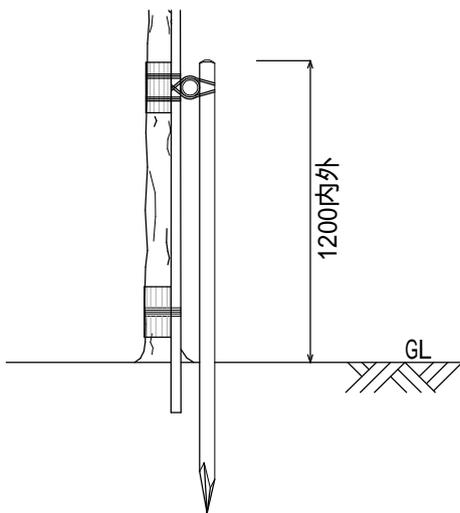


添木付・なし

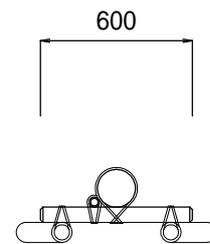
正面図



側面図



平面図



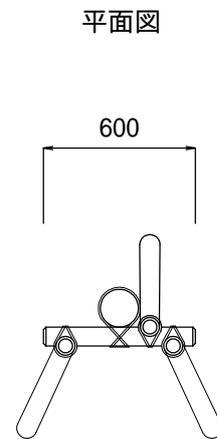
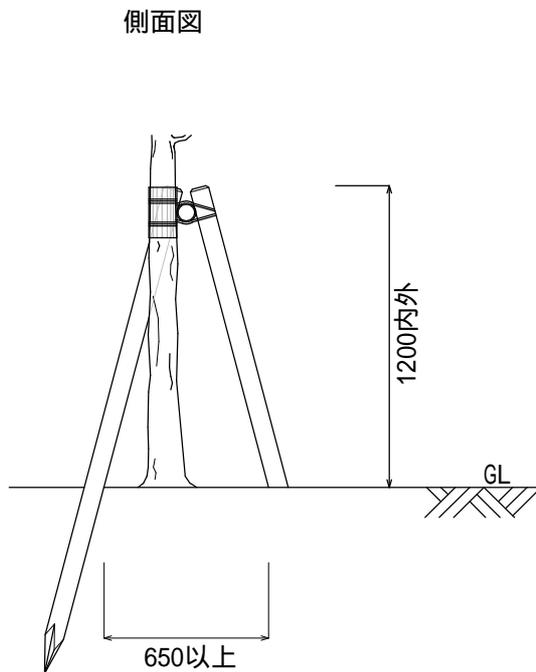
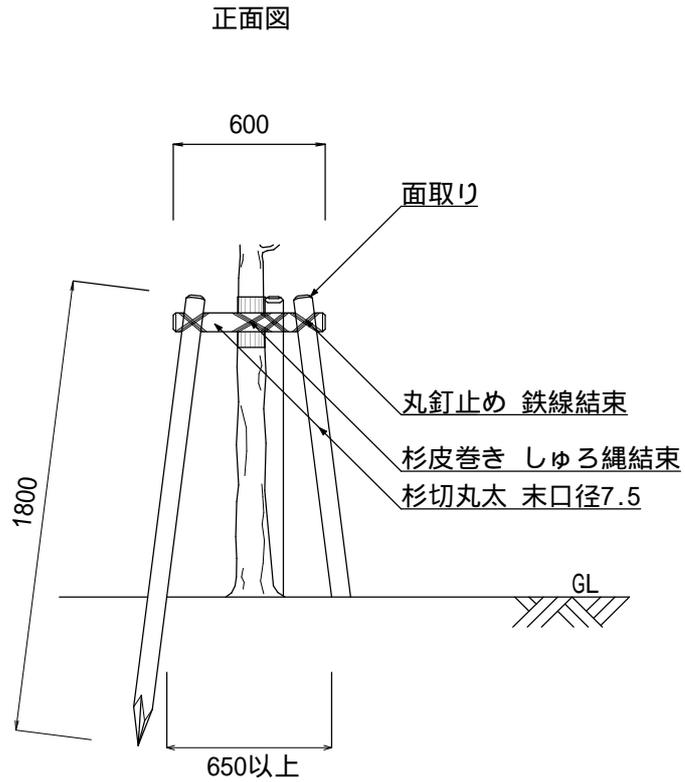
構造物・縮尺

二脚鳥居支柱
(添木付・なし)

S=1:30

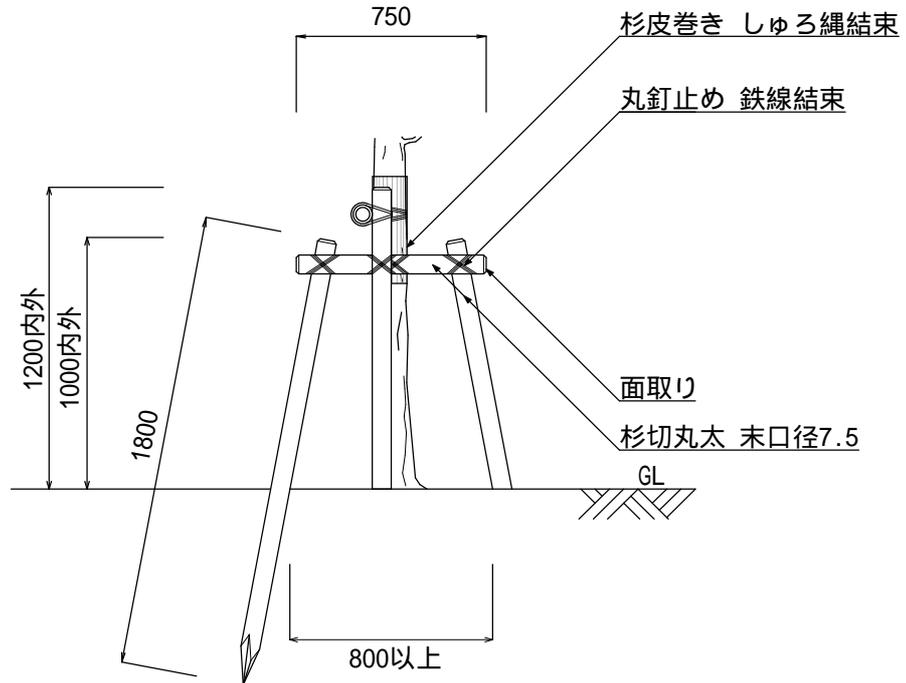
仕様

- ・ 杉切(梢)丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。
- ・ 結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛を標準とする。
- ・ 鉄線は、亜鉛メッキ鉄線 # 18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
- ・ 添木を設置する場合は、樹幹に3ヶ所以上結束する。

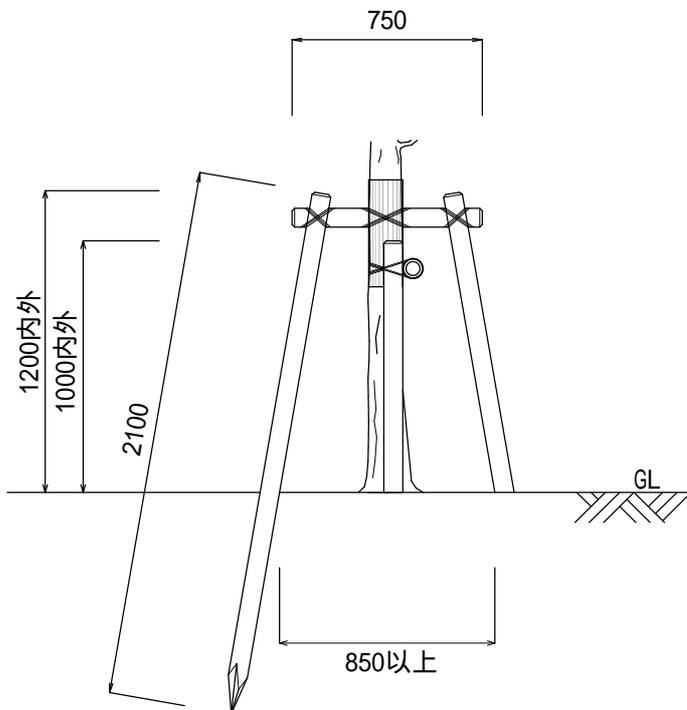


構造物・縮尺	三脚鳥居支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛を標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

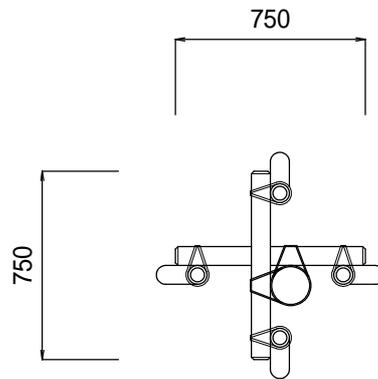
正面図



側面図



平面図



構造物・縮尺

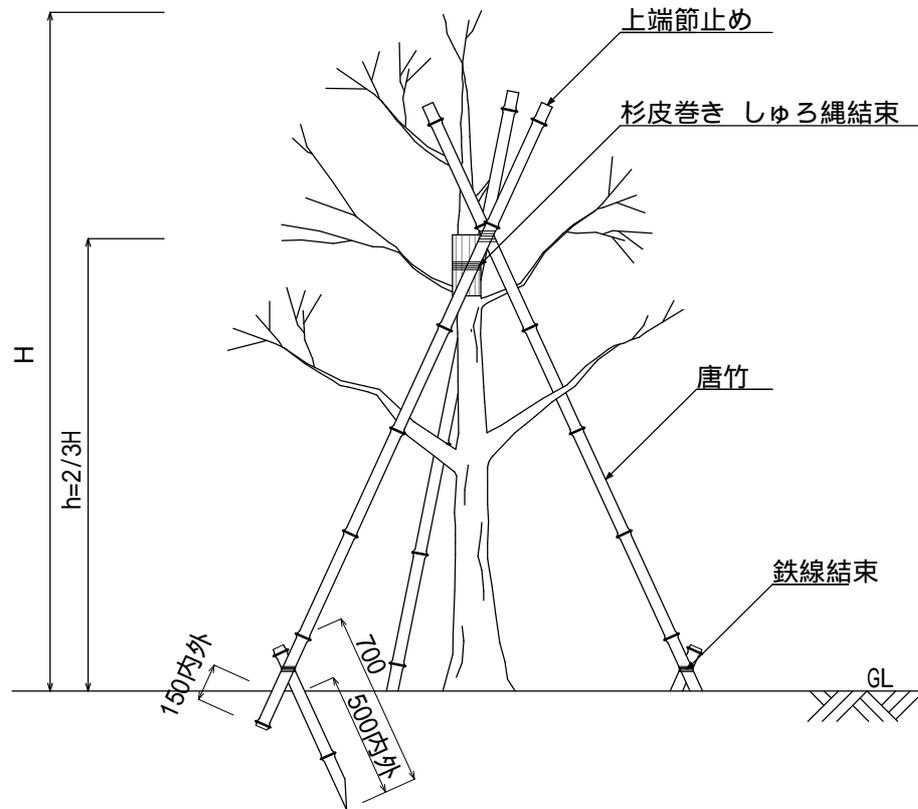
十字鳥居支柱

S=1:30

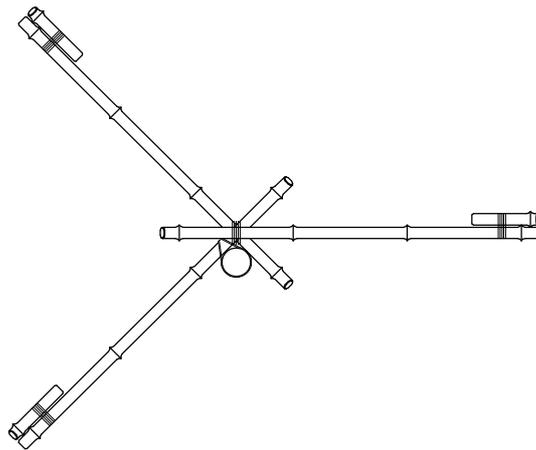
仕様

- ・杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。
- ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛を標準とする。
- ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。

正面図

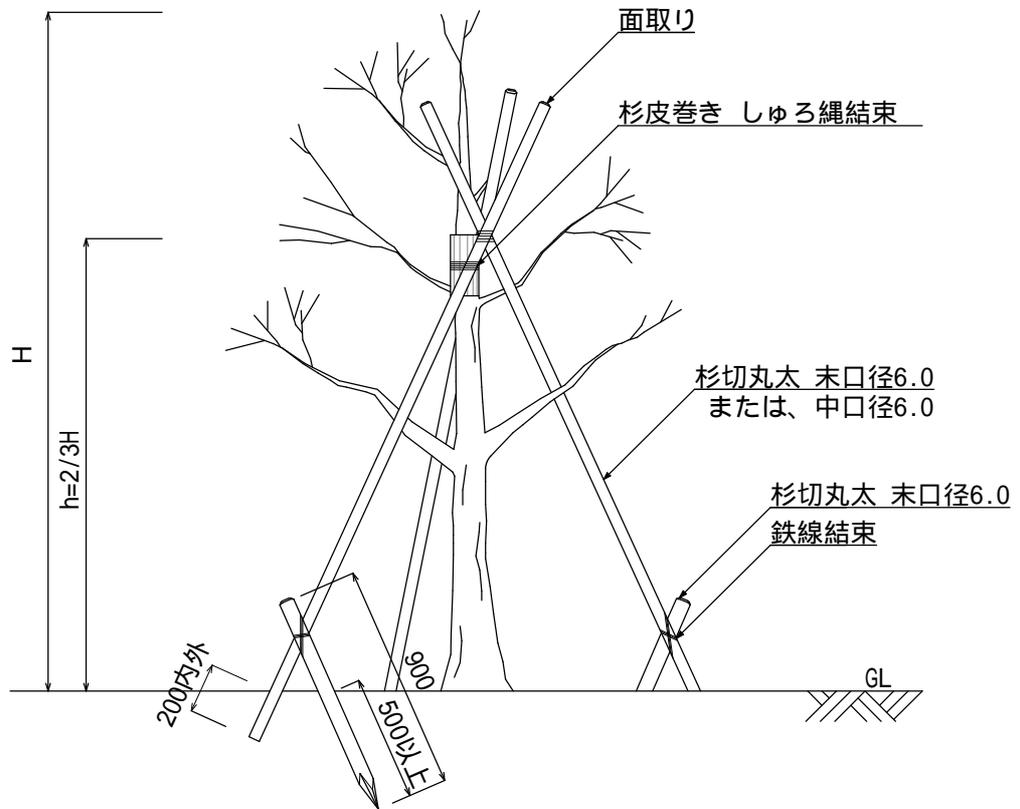


平面図

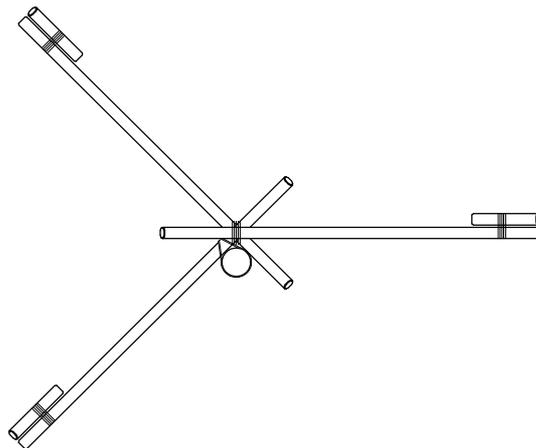


構造物・縮尺	ハツ掛支柱 (竹)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

正面図

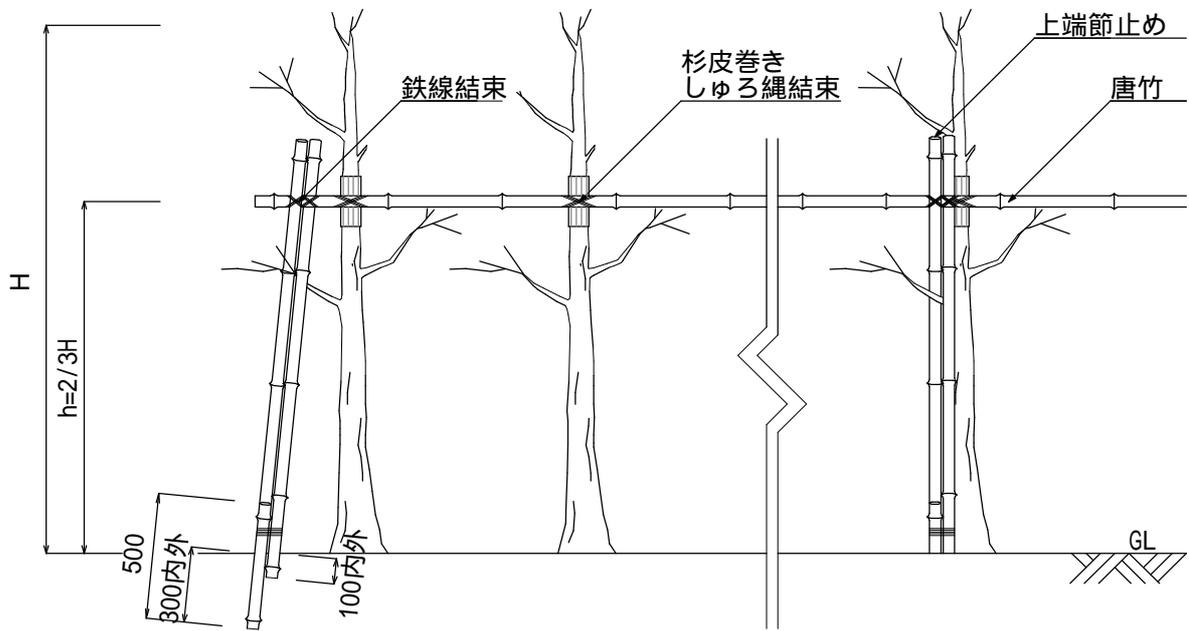


平面図

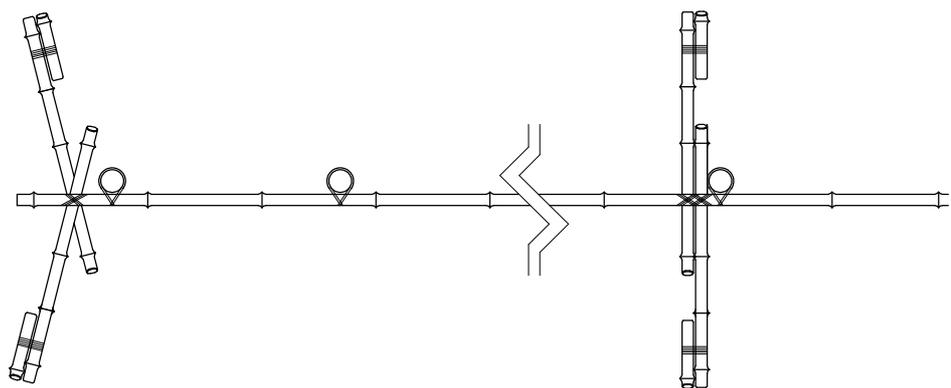


構 造 物 ・ 縮 尺	ハツ掛支柱 (丸太)	仕 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。 ・ 結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・ 鉄線は、亜鉛メッキ鉄線 # 18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

正面図

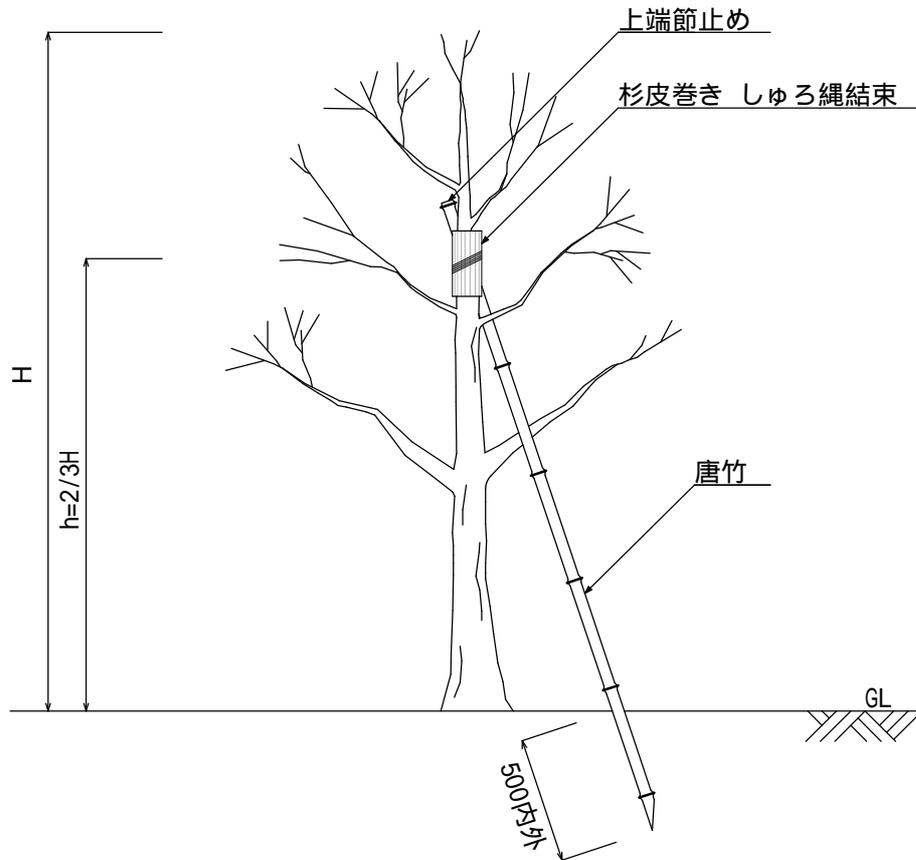


平面図

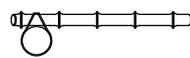


構造物・縮尺	布掛支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

正面図

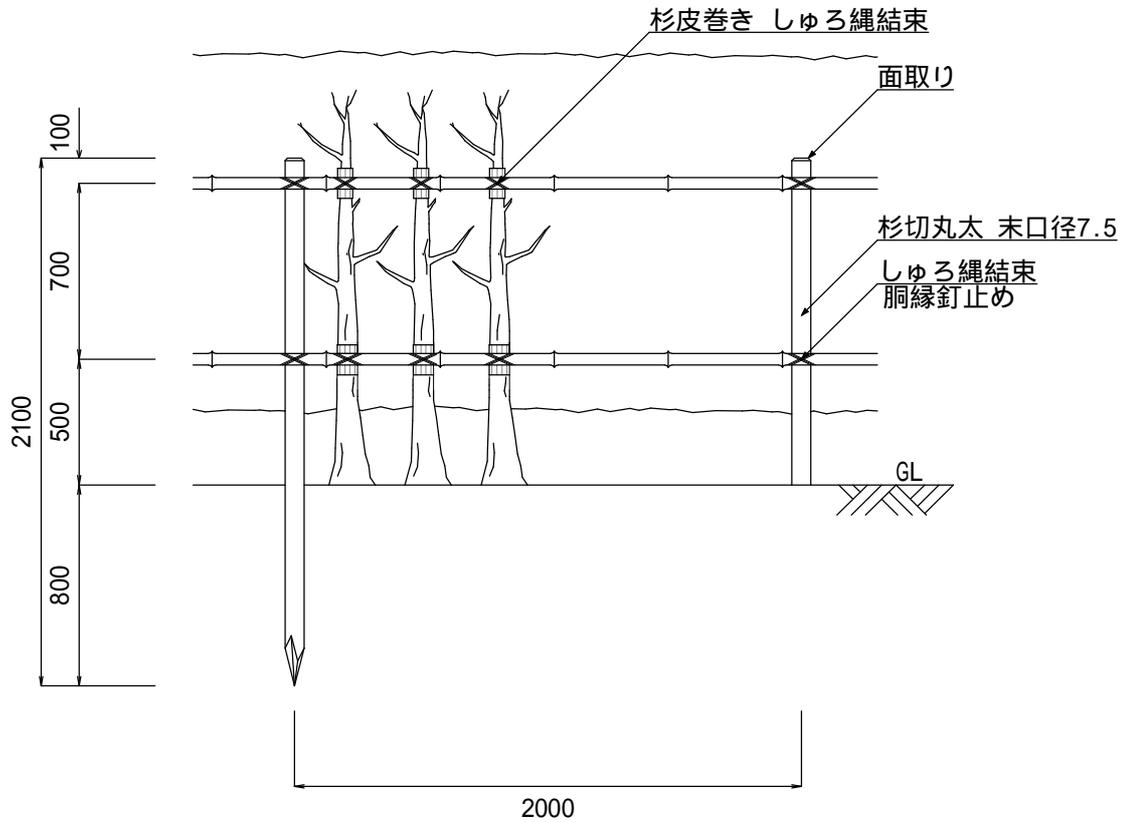


平面図



構造物・縮尺	添柱形支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

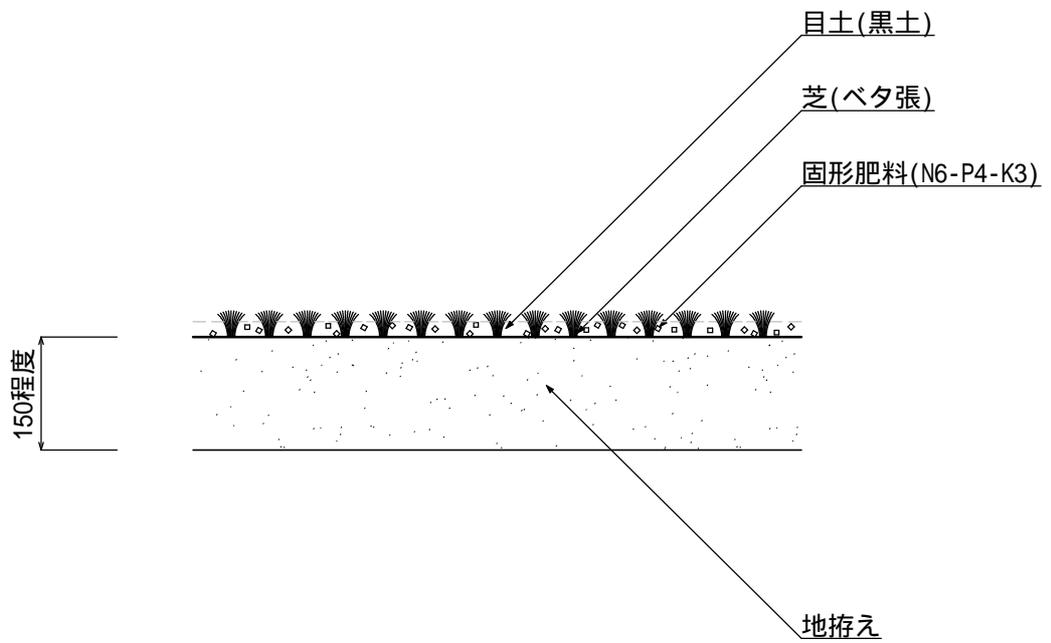
正面図



平面図



構造物・縮尺	生垣形支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。 ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		



構造物・縮尺	張 芝	仕 様	<ul style="list-style-type: none"> 芝生の種類は特記とする。 目土は $2.7\text{m}^3 / 100\text{m}^2$ を標準とする。 固形肥料は $6\text{kg} / 100\text{m}^2$ を標準とする。
	S=1:10		